(病院名)

(発表者名) 様

第 38 回大分県病院学会 演題番号通知

ご登録いただいた演題は口演発表に決定いたしました。 演題番号: D**

- *演題番号先頭のアルファベットは発表会場、2・3番目の数字は発表順を示します。
- *演題番号通知書類の到着確認も兼ねておりますので、同封の連絡票を必ずFAXにて9月1日(火)までにご返信下さい。またメールでのご提出も可能ですので、その場合は連絡票の下部をご参照下さい。

1. 発表までの準備について

(1) 登録内容の確認

同封のプログラム(案)にて発表会場と発表順番、記載内容をご確認下さい。変更等がありましたら、 連絡票の「その他連絡事項等」欄にご記入下さい。

(2) 発表準備

発表原稿は8分でご用意ください。口演発表は原則マイクロソフトパワーポイント(以降PPTで表記)を使います。下記の規定に沿って作成して下さい。

(3) 事前参加登録の申込

発表者も参加登録が必要です。会員病院を通じて事前参加登録をして下さい。事前参加登録をお申込み いただかないと、抄録は届きません。

病院付属施設(クリニック等)に所属の方は、貴院のご担当様へご確認をお願いいたします。

(4) 参加証・抄録集受取

学会開催1か月前に会員病院様へまとめて抄録集を送ります。抄録集を受け取られましたら、ご自分の掲載事項や発表時間帯などの確認をお願いします。また、今後の予定は抄録集の「学会参加の皆様へ」の頁でもご確認下さい。

(5) PPTファイルの作成について

① PPTのデータについて

原則としてバージョン 2010 以降(拡張子.pptx)にて作成して下さい。それ以前のバージョン (97-2007) での提出も可能ですが、その場合は互換モードでの動作となりますことをご了承下さい。

② スライドのサイズについて

スライドサイズは標準(4:3)でお願いします。スライドサイズがワイド画面(16:9)の場合、スライドの周囲が切れてしまう場合がございますのでご注意下さい。

③ 動画について

原則不可。事務局までお問い合わせ下さい。

(6) PPT輔提出について

① 提出期限 11月13日(金) 事務局必着

PPTスライドファイルは必ず事前に事務局までご提出下さい。会場パソコン(以下PC)に載せてご用意します。 PPTを使用しない場合は、同封の連絡票にて事務局までご連絡下さい。

② 提出方法 (以下、***は自分の演題番号を示します)

◎ Eメール添付の場合

〔宛先〕 oha2@oitahospitals. jp

〔件名〕学会PPT提出 演題番号:***

〔本文〕病院名、発表者名、連絡先電話番号

〔添付〕***. pptx (もしくは***. ppt)

- ○PPTファイルのサイズは3MB以内とします。PPT 等の画像圧縮機能をご利用の上、PPTファイル のサイズをできるだけ3MB以内に収めて下さい。
- ○容量が大きい場合はインターネットの大容量ファイル送信用サービスのご利用も可能です。
- ○送信後2~3日経っても返信がない場合は、お電話にて事務局までご連絡下さい。

◎ 郵送、宅配の場合

- ○提出メディアはCD-R、若しくはDVD-Rにてご提出ください。但し、汎用に再生できるようにファイナライズ等のセッション終了を行って下さい。なお、提出されたメディアの返却はいたしません。
- ○封筒およびメディア本体に「学会 PPT提出」「演題番号:***」を、さらに封筒に「病院名」「発表者名」を明記して事務局宛にお送り下さい。

2. 口演発表当日について

(1) 受付

8 時から 11 時までの間にエントランス「発表者受付」にて必ずPPTの動作確認を行って下さい。**発表会場では動作確認はできません。**その後、「記章」をお受け取り下さい。受付時間に間に合わない場合は、11 時までに大会本部までご連絡下さい。

◎大会本部 № 097-540-5526 (ショートメッセージサービスも可)

(2) PPT 差替え

受付時間内にUSBメモリー若しくはCD-R、DVD-Rで持ち込んだ場合のみ対応します。発表会場では 差替えできませんのでご注意下さい。USBメモリーについては、各自で必ずウィルスチェックを行って からご持参下さい。CD-R、DVD-Rの場合は汎用に再生できるようにファイナライズ等のセッション終了を行って下さい。差替えにより発表時に不備が発生した場合等のトラブルには実行委員会では責任を 負いませんのでご了承下さい。

(3) オリエンテーション

12 時 55 分より会場責任者からの説明、および座長との打合せがありますので、必ずご出席下さい。 発表の流れを次ページの「発表者 当日連絡事項」を元に説明しますので、こちらを必ずご持参下さい。

(4) 発表時間・発表形式

発表は8分、質疑を含めて10分です。進行は座長・進行係の指示に従って下さい。 PCを演台に設営していますので、発表者がPPTの操作をお願いします。補助が必要な場合は各自で

ご手配下さい。その際のPCの移動は座長による発表者紹介時間内に行って下さい。

(5) リミタイマー (デジタル計時回線) について

発表進行はリミタイマーを使用し、座長・発表者へ時間を通知します。開始後 7 分で通知音(黄色点灯)、8 分で通知音(赤点灯)にて合図します。

以上

《お問合せ先》 一般社団法人大分県病院協会 事務局

〒870-0100 大分市大字駄原 2892-1 大分県医師会館 5 F

TEL:097-540-5526

FAX:097-540-5597

E-MAIL: oha2@oitahospitals.jp(学会)

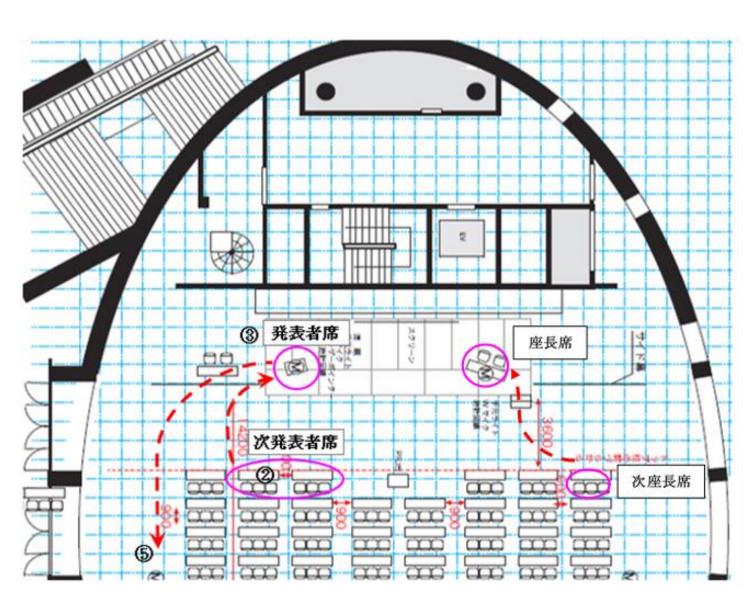
発表者 当日連絡事項 (D会場:レセプションホール)

《連絡事項》

- ① 12 時 55 分より発表会場にてオリエンテーション。会場責任者からの説明、および座長との打合せがありますので、必ずご出席下さい。
- ② 開会式は13時10分、第1座開始時間は13時20分です。
- ③ PPT の動作確認は会場では出来ません。受付での確認が最後となります。
- ④『記章』は退会時にエントランスホール内の総合案内までご返却下さい。
- (5) 発表者席に消毒液を準備していますので、発表の開始前と終了後には手指消毒をして下さい。

《発表の流れ》

- ① 自座の開始時には会場内に着席。
- ② 1題前の発表者の登壇時には、次発表者席へ(下図②参照)。
- ③ 座長が「演題」と発表者の「所属」、「氏名」を紹介するので、その間に登壇し、座長の開始の指示を待つ(下図③参照)。
- ④ 発表開始。質疑応答を含めて10分。リミタイマー:7分で通知音(黄色点灯)、8分で通知音(赤色点灯)。発表者の交代や抄録内容に訂正がある場合は、自分の持ち時間内に行う。
- ⑤ 質疑応答が終わり、座長の指示に従って降壇(下図⑤参照)。



一般演題プログラム

【 口演 D会場:レセプションホール 】

分科会開会式 13時10分

演題 番号		【カテゴリ】 項目	演題	発表者 (職種) 会員病院名
	1 1	ニンテーション 12:55~13:0	<u> </u>	五兵府院石
開会式 13:10~13:20				
1 座 13:20~14:20				
D01	80	【治療・リハビリテーション】 その他	当院における骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腟固定術	花田 麻里 (医師) 大分三愛メディカルセンター
D02	68	【5疾病5事業】 糖尿病	SGLT2阻害薬は脂肪肝指標を改善する	熊埜御堂章 (臨床検査技師) 高田中央病院
D03	89	【5疾病5事業】 糖尿病	積極的な検便検査は癌の早期発見、早期治療につながる	寺谷 香織 (事務) 高田中央病院
D04	72	【5疾病5事業】 糖尿病	糖尿病透析患者の死因は動脈硬化性疾患が著しく多い	熊埜御堂真知子 (看護師) 高田中央病院
D05	93	【病院管理運営】 勤務環境·職員満足度	在宅診療事務の業務改善について	藤田 咲良 (医療事務) 佐藤第一病院
D06	76	【病院管理運営】	診療所との経営統合	梶川潤一郎 (事務) 石垣病院
	休息	自 14:20~14:	25	
	2 座	14:25~15:	15	
D07	14	【5疾病5事業】 精神疾患	未成年者飲酒0.0%を目指して ~アルコール依存症治療拠点機関の看護師にできることは~	川本 大輔 (看護師) 大分友愛病院
D08	134	【5疾病5事業】 精神疾患	精神科病棟における行動性制限最小化に必要な看護実践	渡部 正樹 (看護師) 加藤病院
D09	13	【5疾病5事業】 精神疾患	陰性感情におけるスタッフミーティングの効果 ~スタッフの陰性感情の緩和を目指して~	松尾 真 (看護師) 大分友愛病院
D10	82	【5疾病5事業】 癌	患者様の一言から医療従事者の気づき	橋本 裕子 (看護師) 中村病院
D11	53	【治療・リハビリテーション】 その他	患者受け持ち制を導入しての取り組み	比永 由香 (介護福祉士) 坂ノ市病院
休 憩 15:15~15:20				
3 座 15:20~16:10				
D12	81	【5疾病5事業】 災害時における医療	手術室における地震対策の取り組みと評価 ~多職種参加型の訓練を実施して~	黒田 大貴 (看護師) 大分中村病院
D13	103	【5疾病5事業】 救急医療	院内託児所の保育士に向けた救急演習の取り組み	小倉絵利子 (看護師) 川嶌整形外科病院
D14	69	【5疾病5事業】 糖尿病	腰椎骨密度と握力は関連する	土谷 久士 (診療放射線技師) 高田中央病院
D15	106	【治療・リハビリテーション】 その他	高齢外傷性脳損傷者へのアプローチ 〜環境の構造化が有効であった1症例〜	石川 明菜 (言語聴覚士) 諏訪の杜病院
D16	104	【治療・リハビリテーション】 その他	JJLを有し膝蓋骨脱臼を繰り返す症例	新川 大輝 (理学療法士) 五反田病院